

ひろがる京の木整備事業を活用した『こうりゅう虹タワー』について

◇木製遊具（こうりゅう虹タワー）の導入目的◇

- ①あみ、ロープを使用し、3歳～5歳の子供たちがタワーを制覇する達成感を味わえるもの。
- ②全身を使い、運動することで体幹を鍛える。
- ③仲間と助け合い、協調性を養う。
- ④木の香り、木材に触れることで身近な自然を感じ、道具などを大切に作る気持ちを育む。

1 導入経過等

幼保型認定こども園『こうりゅう虹こども園』では、105名の園児が通園し、日々元気に成長しています。

園では、人生の根っこを育てる『こうりゅう虹こども園』1,000の笑顔満開」をスローガンに活動しており、これまでも保護者会の支援により、園庭には、「ゆらゆら橋」等の木製遊具を設置頂き、こども達が元気に遊んでいます。

今回は、コロナ化で園児、保護者会の活動が制限される中、保護者会会費の繰越金をこども達のために、有効に活用頂きたいとの申し出を受け、協議する中、こうりゅう虹こども園のシンボルとなる木製遊具を設置することとなりました。

保護者会からも作業参加の申し出もあり、こども達にとっては、お父さん、お母さん達が作り、プレゼントしてくれた遊具として親しみをもち、遊べそうです。



作業風景

2 導入した木製遊具（名称：こうりゅう虹タワー）



3 導入まで

- ①7/23(日).....保護者会役員等による遊具基礎工事
- ②7/29(土).....保護者会役員等による遊具基礎の埋め戻し作業
- ③8/5(土)、8/6(日).....9:00～12:00 保護者による木材塗装作業
- ④8/19(土).....9:00～12:00 保護者作業（網張り等）
- ⑤9/16(土).....9:00～12:00 保護者作業（網張り等）
- ⑥10/19(木).....遊具完成式典

4 事業費等

全体事業費 1,673千円
(事業費の内訳:補助金760千円、保護者会100千円、不動園813千円)

木材利用量 1.27m³ (Co₂排出削減効果 54kg-Co₂)
※ 京都府内産の木材を利用することで、54kgのCo₂を削減しました。

メモ: 人間1人が、1日の呼吸で排出するCo₂は、約1kgです。(年間約370kgを排出しています。)
杉の木1本が、1年間に吸収するCo₂は、約14kgです。

本事業で導入した遊具は、京都府内産木材を使用しており、京都府補助金「ひろがる京の木整備事業補助金」による支援を受けています。

5 木材の利用の意義

① 森林は、生物多様性保全機能、地球環境保全機能（温暖化防止）、土砂災害防止、水源かん養機能、保健、レクリエーション機能、物質生産機能等の様々な公益的機能を有しています。

森林の持つ公益的機能を維持していくためには、森林を循環させることが大切です。また、森林を循環させることで、さらに機能が活性化します。

【 森林の循環は、次の工程を繰り返すことをいいます。 木を植える。→木を育てる。→木をきる（木を利用する。） 】

② 木は、育つ過程で、CO₂を吸収し、太く育ちます。（CO₂削減効果） 間伐により木を間引くことでさらに木は大きく育ちます。（間引いた木を間伐材といいます。） 間伐材等の木を有効に利用することは、森林を保全して上で、非常に大切なことです。

【 木は、CO₂を吸収しながら育つため、他の建材に比べてCO₂排出量が少なくなります。 】



木材利用は、地球温暖化防止に繋がります。木材を有効に活用し、森林の循環を繋げましょう！！